

2007年4月5日
2007「日中文化・スポーツ交流年」実行委員会
委員長 御手洗 富士夫

2007「日中文化・スポーツ交流年」親善大使が決定 文化親善大使に酒井法子さん、スポーツ親善大使に福原愛さんが就任

2007「日中文化・スポーツ交流年」実行委員会は、2007「日中文化・スポーツ交流年」親善大使として、文化親善大使に女優の酒井法子さん、スポーツ親善大使に卓球選手の福原愛さんを任命しました。在任期間は本日から2007年12月31日までです。

2007「日中文化・スポーツ交流年」親善大使は、計画されている主要なイベントに参加することを通して、2007「日中文化・スポーツ交流年」をアピールし、日中両国国民、特に将来の日中関係の担い手である青少年の相互理解を深め、両国の交流がさらに発展するように日中の架け橋としての役割を担います。

2007「日中文化・スポーツ交流年」実行委員会は、本交流年の目標である「次世代の中国国民に新しい日本と日本人のイメージを伝える」という観点から、親善大使の条件として、中国での認知度、好意度ともに高い人物であることに重点を置いて検討した結果、酒井法子さんと福原愛さんをそれぞれ文化親善大使とスポーツ親善大使に任命いたしました。

酒井法子さんは、1990年以降、中国をはじめとする東アジアに活躍の場を広げ、数々のテレビコマーシャルに出演しています。その後、コンサートの開催やテレビおよびラジオ番組への出演のほか、中国語の楽曲も数多く発表し、中国をはじめとするアジア全域で絶大な人気を誇っています。昨年中国で行われた調査*1では、日本人の女性タレントの認知度と好意度ともに1位であり、多くの中国国民に愛されていることから、2007「日中文化・スポーツ交流年」文化親善大使の就任にいたしました。

福原愛さんは、2005年4月に中国スーパーリーグ遼寧省チームに入団後、翌年4月には同リーグ広東佐川急便チームに移籍し、各チームの主力選手として活躍し、中国各地を転戦しました。また、幼い頃から中国人コーチと話す機会があり、頻繁に中国で合宿を行っていたことから自然と中国語を身に付け、その堪能な中国語により、中国スーパーリーグ在籍中には中国のインタビュー番組や卓球雑誌に登場しました。2005年4月に中国のインターネットサイトで発表された世界卓球八大美女*2にも選ばれるなど、中国で高い実力と人気を誇っていることから、2007「日中文化・スポーツ交流年」スポーツ親善大使の就任にいたしました。

*1 株式会社ビデオリサーチ「中国における映像コンテンツ事業展開に向けた『マーケティングデータ整備』に関する調査結果報告書」 2006年3月より

*2 インターネット検索大手の「Yahoo!」の中国サイトより



■酒井法子さんプロフィール

1971年2月14日生まれ。福岡県福岡市出身。86年ドラマ『春風一番!』でデビュー。1987年『男のコになりたい』でレコードデビューすると同時に、若者を中心に人気を獲得し、その年の日本歌謡大賞最優秀放送音楽新人賞を受賞。1990年以降、中国をはじめとする東アジアに活躍の場を広げ、1992年以降、東アジアの数々のテレビコマーシャルに出演し、それまでの人気に拍車を掛けた。また、この頃から女優としても本格的な活動が始まり、『ひとつ屋根の下』『星の金貨』など出演テレビドラマが大ヒットする一方、『星の金貨』の主題歌として自ら歌った『碧いうさぎ』がミリオンセラーとなった。さらに東アジアでのコンサートの開催やテレビおよびラジオへの出演のほか、中国語の楽曲も数多く発表し、アジア全域での人気を決定づけるきっかけとなった。1999年7月に長男を出産。子育てと女優活動を両立しながら、現在も幅広い領域で活動している。



■福原愛さんプロフィール

1988年11月1日生まれ。宮城県仙台市出身。「愛ちゃん」の愛称で幼い頃から親しまれている。3歳9ヶ月から卓球を始め、中国人コーチや両親の指導のもとで実力をつけ数々のタイトルを獲得している。現在は日本代表女子選手としてアテネ五輪や世界選手権などに出場し、名実ともに「日本のエース」に成長した。また、日本オリンピック委員会・選手強化キャンペーン・シンボルアスリート制度適用選手でもある。幼い頃から中国人コーチと話す機会があったこと、また頻繁に中国で合宿を行っていたことから自然と中国語を身に付けている。2005年4月に中国スーパーリーグ遼寧省チームに入団後、2006年4月には中国スーパーリーグ広東佐川急便チームに移籍し、中国各地を転戦した。2007年4月 早稲田大学入学。ANA所属。世界ランキング11位。(2007年3月現在、現・日本人トップ)

【この件に関する問い合わせ先】

2007「日中文化・スポーツ交流年」実行委員会事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 虎ノ門一丁目森ビル10階
担当 : 猪谷(いがや)、三平(みひら)
TEL : 03-3591-3111 FAX 03-3591-3301
E-mail : exec@jccs2007.org

補足資料

■2007「日中文化・スポーツ交流年」とは

2007「日中文化・スポーツ交流年」は、2007年が日中国交正常化35周年にあたり、これを記念して日中両国国民、特に次世代の日中の青少年間の相互理解を深めることを目的に、年間を通じて一連の記念事業を実施するものです。さらに、2008年は、日中平和友好条約30周年記念、また、北京五輪が開催され、2010年には上海万博の開催が決定しており、日中間の交流を一層拡大、深化させる好機が到来しています。



日本文



中国文

■ロゴマーク趣旨

「CJハート、日中交流の心のマーク」

China-Japanの頭文字「CとJ」をダイナミックに交流させ、新しいハート(心)を生み出しました。CとJは長い交流を「種」とし、ぐんぐん天に向かってのび、成長回転します。ハートを大切に包み込み、守り、育てる様を表現しました。日中交流の基本も心(ハート)です。

文化の心、スポーツの躍動する心を通じて、日中の現在へ、次世代へ、未来へ、交流のハートを回し続ける動きを志しました。

作者：加賀谷 美幸さん(東京都台東区)

■キャッチフレーズ趣旨

日中国交正常化35周年は両国関係発展の新たなスタートとなります。

両国国民が共に両国関係の発展を心から期待し、このような気持ちが、両国の新たな未来につながっていく、そして、両国国民、ひいてはアジアや全世界に幸せをもたらすことをイメージしました。

作者：黄 新国さん(湖北省黄冈市)